

平成26年度予算見積調書

課室名：大気環境課
 担当名：企画・監視担当
 内線：3057

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B30	揮発性有機化合物対策事業費			一般会計	総務費	環境費	公害対策費	青空再生推進費	
事業期間	平成19年度～	根拠法令	大気汚染防止法				戦略項目		
				分野施策	040301 公害のない安全な地域環境の保全				
1 事業概要 埼玉県は、光化学オキシダント注意報の発令日数が、全国でも非常に多い。そこで、光化学オキシダントの原因物質である揮発性有機化合物（VOC）について、事業者の大気への排出量をより一層削減するため、事業者の排出抑制への自主的な取組を促進させる。				5 事業説明 (1) 事業内容 ア VOC対策普及啓発事業 424千円 事業者向け説明会の実施（11月）、普及啓発活動（リーフレット作成等）（2月） イ VOC削減対策指導事業（通年） 1,437千円 VOC対策サポート事業の実施、VOC現場測定に係る試薬等の購入サポート事業は、アドバイザーの同行による立入検査を積極的に実施することにより、削減対策を強力に推進する。 ウ 業種別削減対策推進事業（通年） 124千円 低VOC塗料の普及を推進するため、建築塗装業における普及状況調査を実施する。併せて、県庁が率先して建築塗装に低VOC塗料を使用することで、普及を推進する。 エ VOC回収給油機導入推進事業（新規、通年） 102千円 ガソリン給油時に自動車燃料タンクから排出されるVOCを回収する給油機を普及させるため、学識経験者や関係者による推進委員会を組織して推進策を検討する。					
2 事業主体及び負担区分 （県10/10）				(2) 事業計画 ア 平成25年度～ 自主的な取組の推進、業種別削減の推進、県庁における削減の取組状況の検証 イ 平成29年度 5か年計画の目標に対する検証等					
3 地方財政措置の状況 普通交付税（包括算定経費） （区分）企画費（細目）環境保全対策費（細節）環境保全対策費（積算内容）環境の監視調査・測定・分析、公害の規制等				(3) 事業効果 事業者による自主的なVOC削減取組がさらに促進され、VOC排出量の削減が図られる。 VOC排出量 平成23年度：37,875t/年（現在） 平成28年度：33,000t/年（目標） （平成21年度排出量：41,618t/年、平成22年度排出量：39,723t/年）					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3人=28,500千円				(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 九都県市による広域的な取組を平成24年度から展開 (5) その他 【単位事業の追加】 VOC回収給油機導入推進事業 他業種に比べVOC削減対策が進んでいない燃料小売業における自主的な取組を促進させ、排出量を削減する。					
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	2,087							2,087	319
前年額	2,406							2,406	